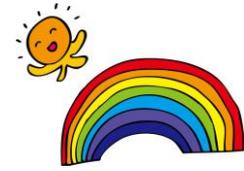


にじいろ通信



貧困の中にいる子ども達のつながり①

暦の上ではもうすぐ立春ですが、寒さの厳しい日が続きます。でも、徐々に日の出が早くなっています。朝早く明るくなるのは嬉しいですね。春が一步一步近づいてくるのを感じます。

さて、ここ数ヶ月の間、何度か「子どもの貧困」に関する研修に足を運び機会がありました。

実は貧困には大きく二つの定義があるそうです。みなさんは、「貧困」と聞くと、食べるもの、住むところ、着るものがなく、生存の危機に陥っている、あるいはすぐにでも陥る状態をイメージするかもしれません。このような貧困は「絶対的貧困」と呼ばれるそうです。

一方、もう一つの定義に、「相対的貧困」があります。これは、今その人々が生活している社会の水準と比較してどうか？という視点で定義するものです。大雑把に言うと、「子どもを含む国民全員の所得を仮に計算して順番に並べ、真ん中の人の金額の半分より少ない人を貧困とする」といった感じのようです。2012 年、厚労省から公表された日本の子どもの相対的貧困率は、16.3%、およそ 6 人に 1 人という割合でした。

ある研修会では、貧困＝貧乏＋孤立と表現されていました。学習、食事、衣服、空間や場所、時間、休息等、貧しさを経済的な側面だけではかるのではなく、そこにいる子どもが「何の経験に貧しいのか」を考えていくことが大切なのですね。そして、その背景に共通してあるのは、「(自分を受け入れてくれる) 人との繋がり」ではないかと思えます。「金の切れ目が縁の切れ目になりうる」ということばが印象的でした。いろいろな経験が不足することで、当人、周囲共に、意図しなくてもつながりが薄くなりうるんですね。

定義に当てはまる家庭全てで子どもが困っているわけではないと思えます。定義づけがレッテル張りにならないよう注意する必要もあると思えます。

しかし、「貧困が身近なものであることに気がつくこと」、そのことが、つながりがやすい子ども達を支援する大切な一歩なのではないでしょうか。

参考：朝日新聞デジタル 2014 年 07 月 16 日 朝刊

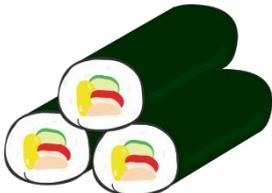
文責：SSW 大久保 尚也





主な学校巡回予定

勤務予定日：*…五十嵐 ♪…大久保 ※外出…研修、他施設、家庭訪問等
 時間帯：午前 / 午後（時間帯は各園、各校調整いたします）

日	月	火	水	木	金	土
			1 *:外出 / ♪:一中 /	2 *: / ♪:外出 /本宮小	3 *: / ♪:外出 /	4
5	6 *:外出 /外出 ♪:外出 /白岩小	7 *:五百川小 /外出 ♪: /まゆみ小	8 *:白沢中 / ♪: /外出	9 *:外出 / ♪: /本宮小	10 *: / ♪: /外出	11
12	13 *:二中 /外出 ♪:白岩小 /	14 *:外出 /外出 ♪:外出 /外出	15 *: /外出 ♪: /一中	16 *: /外出 ♪:外出 /外出	17 *:外出 /外出 ♪:外出 /外出	18
19	20 *:岩根小 / ♪: /外出	21 *: / ♪:一中 /まゆみ小	22 *:外出 / ♪: /外出	23 *:糠沢小 / ♪: /本宮小	24 *:糠沢幼 / ♪:和田小 /和田小	25
26	27 二中 *:外出 / ♪: /白岩小	28 *:岩根小 /幼児の家 ♪: /外出				

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

連絡先：本宮市教育委員会 幼保学校課（本庁2階）

電話 24-5445（内線1247） / E-mail : ssw@city.motomiya.lg.jp

スクールソーシャルワーカー 五十嵐 敦子・大久保 尚也